

事前評価チェックシート

計画の名称： 安全・安心な歩行空間の確保と都市の円滑な交通を支援する街路整備（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との適合等	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 整備計画の目標が地域の課題解決へ向けた対応となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 定量的指標が整備計画の目標達成へ向けた指標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指標・数値目標が県民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 関連事業は基幹事業との一体性が見られる。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が見込まれる内容となっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性	
III. 計画の実現可能性 1) 基幹事業の必要性が整理されている。	○
III. 計画の実現可能性 2) 関連事業の目的が明確である。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性

1) 事業の内容に関し、地元に対する以前説明が行われ合意形成が図られている。

○

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H29				
配分額 (a)	98				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	98				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	85				
翌年度繰越額 (f)	13				
うち未契約繰越額(g)	11				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	11.22				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成29年03月22日

計画の名称	安全・安心な歩行空間の確保と都市の円滑な交通を支援する街路整備（防災・安全）												
計画の期間	平成29年度 ~ 平成33年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	秋田県												
計画の目標	通学路における安全・安心な歩行空間を確保するとともに、都市の円滑な交通を確保し、まちの活性化を支援する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,380	A	3,380	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H33末)
1	通学路合同点検において指摘・公表された通学路における、安全・安心な歩行空間確保率の向上 歩道未設置の通学路において、歩行空間が確保された延長の割合。有効幅員（2m以上）確保延長より算出。 (歩行空間確保延長(m)) / (整備計画区間全延長(m)) × 100 (%)	0%	0%	39%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
「秋田県国土強靱化地域計画」に基づき実施される要素事業：9-A1～A2								

参考図面(防災・安全交付金)

